

稲作管理特報

平成29年 6月23日
黒東地域農業技術者協議会

「てんたかく」の穂肥の施用は、幼穂の長さを必ず確認し、適期を逃さず行いましょう。

また、出穂期までは「飽水管理」（足跡に水が残る程度の状態になったら入水する）に切替えましょう。

1. 「てんたかく」の穂肥 (分施体系の場合)

幼穂を確認したら、遅れず施用しましょう。

基肥に一発肥料（L P s 早生専用）を施用した場合は、穂肥は施用しないでください。

穂 肥	時 期	生 育 の 目 安		肥料名及び施用量
		幼 穂 長	葉 色	
1回目	7月1日 ～2日頃	1～2mm	4.2(※)	NK化成C-12号 12kg/10a
2回目	1回目の施用 から10日後	—	—	NK化成C-12号 12kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.2未満と淡い場合は、3日程度早めに施用してください。



2. 今後の水管理について

【水管理のイメージ図 (てんたかく)】

1筆当たり、主茎で3本以上幼穂を確認しましょう

